

平成 26 年 度

事 業 報 告 書

平成 27 年 3 月

公益財団法人 徳川黎明会  
総務部  
徳川美術館  
徳川林政史研究所

## 目次

I. 管理部門	P. 1
II. 公益目的事業	P. 10
III. 収益事業	P. 46

## 特記事項

### I. 管理部門（本部・総務部）

#### [1] 官庁（内閣府）関係

- (1) 平成26年6月 平成25年度事業報告書並びに決算報告書等を提出した。
- (2)     "        公益認定法で要請されている事業計画書、事業報告書等を提出した。
- (3) 平成27年3月 平成27年度事業計画書並びに予算書等を提出した。

#### [2] 諸規程の改訂及び労務管理の整備

規程の一部改訂を行うとともに人事考課制度に基づく給与制度改革を実施した。

#### [3] 監査

2名の監事により、平成26年5月27日に平成25年度の決算監査が実施されその結果適法正確と認められた。

また税理士による毎月の月次監査を実施した。

#### [4] 組織再編

平成27年1月、総務部及び美術館において次年度の組織再編の第一段階として人材の再配置を行った。

#### [5] 労働審判対応

平成26年6月11日、徳川美術館従業員2名より労働審判の申立があり、審議を経て平成26年10月28日調停が成立した。

#### [6] 組合対応

平成26年9月29日、愛知自治体一般労働組合徳川美術館分会が結成され、専務理事・総務部長が11月6日、12月3日、2月17日の団体交渉に出席した。

## [ 7 ] 理事会・評議員会開催

### 1. 理 事 会

#### 第1回理事会

- 開 催 平成26年6月3日 午後2時00分 当会に於いて
- 議 案 第1号議案 平成25年度監査報告の件  
第2号議案 平成25年度事業報告及び附属明細書承認の件  
第3号議案 平成25年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録承認の件  
第4号議案 任期満了に伴う相談役選任の件  
第5号議案 評議員会招集の件

- 結 果 第1号議案  
審議の結果一同異議なく、承認可決された。
- 第2号・第3号議案  
席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、両議案とも原案の通り承認可決された。
- 第4号議案  
中田易直相談役が6月19日で任期満了となるが引き続き相談役をお願いしたいとの提議があり審議の結果一同異議なく、承認可決された。
- 第5号議案  
公益財団移行後における評議員会は理事会の決議をもって召集されることになっているため、本日の理事会の承認をもって、来る6月20日午後2時から評議員会を開催したいとの提議があり一同異議なく、承認可決された。

#### 第2回理事会（書面による決議）

定款39条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の規程により、次の通り書面による審議がなされ理事会の決議があったものとみなされた。

### その1

○議 案 代表理事、業務執行理事（専務理事 常務理事）を選任するための理事会を書面にて決議をとること。

○結 果 理事・監事が同意書を提出し、書面にて決議をとることが承認された。

### その2

○議 案 代表理事、業務執行理事（専務理事 常務理事）選任の件

代表理事（会長）	徳川義崇
業務執行理事（専務理事）	近松真知子
業務執行理事（常務理事）	竹内 誠

○説明・結果 上記3名は6月20日に開催される評議員会において理事に選任されることを条件として就任を承諾した。理事間で書面による決議を行い、理事・監事全員の承認を得た。

○理事会の決議があったものとみなされた日 平成26年6月20日

### 第3回理事会

○開 催 平成26年9月3日 午後3時 当会に於いて

○議 案 第1号議案 徳川黎明会規程改訂の件

○結 果 第1号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、承認可決された。

このほか報告事項として徳川美術館で起きた労働審判にかかわる件について、会長及び専務理事より経緯及び現状分析・説明があり、解決に向けての対応について質疑応答がなされた後、会長の示した方向性について了承された。

#### 第4回理事会

○開 催 平成27年2月4日 午後2時 当会に於いて

○議 案 第1号議案 業務執行理事退任の件

第2号議案 総務部長・美術館長退任の件

第1号議案については専務理事より、昨年の一連の美術館にかかわる事件に関し責任を痛感しており3月を以て退任したいとの申し出があった。

第2号議案については会長も美術館長を退任し、自らが総務部長に就任してこの難局を乗り切る意向を示し、それに伴い近松専務理事は総務部長辞職願を提出したとの説明があった。

○結 果 第1号・第2号議案とも労働審判において財団に責任はないとの判断が出たのであって、かかる人事措置をとる必要はないとの意見が出され、結果として会長は館長を降りず留まって事態の收拾を図るべきであり、専務理事も一方的な引責の必要は現段階ではなく、総務部長職についてもできれば後継者を決めた上で会長が退任判断を求めるべきとの提案が席上なされ、会長・専務理事とも了承した。

#### 第5回理事会

○開 催 平成27年3月26日 午後2時 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成27年度事業計画書承認の件

第2号議案 平成27年度予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件

第3号議案 寄附金受け入れの件

第4号議案 規程改訂の件

○結 果 第1号・第2号・第3号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、三議案とも原案の通り承認可決された。

第4号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果、一同異議なく、原案の通り承認可決された。

## 2. 評議員会

### 第1回評議員会

○開 催 平成26年6月20日 午後14時 当会に於いて

○議 案

第1号議案 議事録署名人選定の件

第2号議案 平成25年度計算書類並びに財産目録承認の件

第3号議案 任期満了に伴う理事・監事選任の件

○結 果 第1号議案

議事録署名人については、室瀬和美氏選定の提議があり、その可否について  
諮ったところ出席者一同異議なく、承認可決された。

室瀬和美氏からは、お受けするとの発言があった。

第2号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果一同異議なく、原案の通り承認可決され  
た。

第3号議案

平成24年6月19日付け就任の理事が改選となり、監事も4年の任期を満了し改  
選となることをふまえ、理事・監事の選任が実施され以下の通り可決された。

#### 公益財団法人 徳川黎明会 理事 (3名以上9名以内)

[重任] 徳川義崇 近松真知子 竹内 誠 池田弘一  
小林 忠 徳川斉正 前田利祐 計7名

平成26年6月20日就任

#### 公益財団法人 徳川黎明会 監事 (3名以内)

[重任] 松平頼武 降籬京二 計2名

平成26年6月20日就任

## 第2回評議員会

- 開 催 平成26年12月2日 午前10時30分 当会に於いて
- 議 案 第1号議案 議事録署名人選定の件  
第2号議案 徳川美術館の事件に対する対応の件

○結 果 第1号議案

議事録署名人については、室瀬和美氏選定の提議があり、その可否について  
諮ったところ出席者一同異議なく、承認可決された。

室瀬和美氏からは、お受けするとの発言があった。

第2号議案

前回の評議員会後の労働審判を中心に時系列に沿った説明がなされ、各評議  
員からは労働審判が調停に至ったのちも事態が収束していないように思われる  
ことに懸念が表明され、職員と執行部の信頼関係を回復するために直接対話の  
機会を作る方向で進めることが確認された。

### [6] 文部科学省への届出・報告事項

1. 平成26年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書を提出した。平成26年4月
2. 平成25年度科学研究費補助金（特定奨励費）実績報告書を提出した。平成26年5月

[ 7 ] 役員及び評議員、職員 (平成27年3月31日現在)

1. 役員

理事 計 7名

役名	氏名	職業
会長	徳川 義崇	八雲産業(株)社長、徳川美術館 館長
専務理事	近松真知子	(公財) 徳川黎明会 総務部長
常務理事	竹内 誠	東京学芸大学名誉教授、徳川林政史研究所 所長
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
〃	小林 忠	学習院大学名誉教授
〃	徳川 斉正	(公財) 徳川ミュージアム理事長
〃	前田 利祐	(一社) 霞会館 常務理事

監事 計 2名

役名	氏名	職業
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所長
〃	松平 頼武	(学) 本郷学園 理事長

評議員 計 7名

役名	氏名	職業
評議員	太田 宏次	(公財) 東洋医学研究財団 理事長
〃	小林 喬	富国生命保険(相) 相談役
〃	田中 秀隆	(公財) 三徳庵 理事長
〃	濱本 英輔	(株) ロッテ 顧問
〃	原 俊夫	(公財) アルカンシエール美術財団 理事長
〃	松方 冬子	東京大学史料編纂所 准教授
〃	室瀬 和美	(株) 目白漆芸文化財研究所 代表取締役

役員総計 16名

なお、相談役の中田易直氏が平成27年1月21日に逝去したため、ほか相談役2名(竹内順一、竹田憲央)となっている。

## 2. 職員

総務部 計 5名 (他に非常勤学芸員 2名)

職 名	職 階	氏 名
兼 部 長	専務理事	近松真知子
特命部長、美術館管理部長 職務委嘱	参事補	林 繁俊
上席参与	嘱 託	市橋 康吉
課 長・秘書室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子
課 長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之

徳川美術館 計18名 (他に非常勤研究員 7名 (うち1名 評議員兼任)、非常勤学芸員 1名 )

職 名	職 階	氏 名	
兼 館 長	会 長	徳川 義崇	
学 芸 部	部 長	参事補	四辻 秀紀
	兼 部長代理	主 事	原 史彦
	課 長	主事補	吉川 美穂
	係 長	書 記	下畑いつこ
		〃	並木 昌史
		〃	薄田 大輔
		〃	加藤 祥平
		〃	安藤 香織
企 画 推 進 部	兼 部 長	専務理事	近松真知子
	兼 部長代理	主 事	原 史彦
	課 長 (教育・普及担当)	主事補	加藤 啓子
	係 長	書 記	鈴木 裕之
		〃	坪井 美幸
		〃	吉川 由紀
管 理 部	課 長 (管理担当)	主事補	野村 弘和
	課 長 (庶務担当)	〃	長谷 峰生
	係 長	書 記	大田 智恵
		〃	遠山 洋

徳川林政史研究所 計 5名 (他に特任研究員16名、非常勤研究員9名、非常勤研究生11名)

職 名	職 階	氏 名
兼 所 長	常務理事	竹内 誠
副 所 長	嘱 託	深井 雅海
係 長	書 記	鶴岡 香織
研 究 員	嘱 託	藤田 英昭
〃	〃	萱場 真仁

職員総計28名(うち3名役員兼任)

※他に部外の業務・研究協力者を参与に委嘱しており、この人員は美術館 3名・林政史研究所 4名となっている。

## Ⅱ. 公益目的事業

### 〔公 1〕

#### 美術館の運営事業(徳川美術館)

### [1] 調査・研究

#### 1. 研究

課 題 (開始年)	担 当
(1) 館藏品悉皆調査 (昭和63年)	学芸部 共同
(2) 尾張徳川家関係寺社藏品調査 (昭和58年)	
(3) 古代・中世の料紙装飾の系譜 (昭和60年)	学芸部長 四辻秀紀
(4) 歌絵・物語絵の研究 (平成3年)	
(5) 徳川将軍家と尾張家の研究 (平成19年)	学芸部部長代理・ 企画推進部部長代理 原 史彦
(6) 長篠・長久手合戦の研究 (平成20年)	
(7) 近世絵画の研究 (平成6年)	学芸部 課長 吉川美穂
(8) 尾張を中心とする画家の活動について (平成11年)	
(9) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について (平成8年)	学芸員 並木昌史
(10) 有職装束の研究 (平成8年)	
(11) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究 (平成21年)	
(12) 近世絵画の研究 (平成24年)	学芸員 薄田大輔
(13) 江戸初期絵画の研究 (平成24年)	学芸員 加藤祥平

課 題 (開始年)	担 当
(14) 古代・中世の仏教絵画の研究 (平成25年)	学芸員 安藤香織
(15) 東洋陶磁の研究 (平成25年)	学芸員 吉富真知子

## 2. 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) による研究

### 基盤研究(B)

交付機関 独立行政法人日本学術振興会  
 研究課題名 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究  
 研究分担者 安藤香織 (学芸員)

## 〔2〕文化財保存

### 1. 修 理

#### 基本美術品

国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面

(関屋 絵、柏木(一) 絵、柏木(三) 絵、横笛 絵、竹河(二) 絵、  
早蕨 絵、宿木(二) 絵、東屋(二) 絵)

(以上1件は国宝重要文化財等保存整備費補助金 (国庫補助事業) による修理、  
平成24年度より継続)

#### 普通美術品

紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文鎧下着 (※平成24年度からの継続) 一領

(以上1件は活動支援基金による修理)

## 2. 寄贈

### 普通美術品

御深井焼葵紋茶碗 銘 黄母衣 徳川齊荘作	一口	木村克彦氏
元贗焼文字文染付茶碗	一口	〃
四字一行書「君子愛人」 徳川綱義(綱誠)筆	一幅	朝見行雄氏
十三首和歌 徳川齊荘筆	一面	岡田廸子氏

## 3. 未登録品の什宝組入

初音蒔絵手板 (復元) 室瀬和美製作	一枚	科研費製作品
木胎模型 (牡丹紋鳥獸草花箔絵十二角足付盆・聖像祭器27) 室瀬和美製作	一枚	修理に伴う模作

## 4. 収蔵品の撮影

### 館内

- (1) 特別展「復古やまと絵」関連
- (2) 広島県立歴史博物館「尾張徳川家の名宝」展図録関連
- (3) 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

## [3] 教育・普及

### 1. 定期研究発表会

(内 容)	(年月日)	(講 師)
第65回 松花堂昭乗の歌仙絵について	26. 7. 12	加藤祥平
第66回 尾張徳川家伝来の青磁花生	27. 2. 14	吉富真知子

### 2. 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
宗春が目指したもの		
—もう一つの享保改革—	5. 3	東京学芸大学教授 大石 学氏
為恭芸術の近代性	10. 4	大和文華館 学芸部長 中部義隆氏
訥言から宜稲へ やまと絵の精神と技法	10. 17	森村記念館 館長 森村宜高氏

3. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
尾張徳川家当主が受け取った拝領品	26. 4. 20	並木昌史
徳川宗春の文化政策	5. 17 名古屋市蓬左文庫文庫長	桐原千文
大名道具に見る美と機能	6. 14	安藤香織
徳川光友と大曾根御屋敷	8. 2	原 史彦
長州征伐と尾張藩	9. 13 名古屋市蓬左文庫学芸員	木村慎平
復古やまと絵派と古画学習	10. 11	吉川美穂
描かれた装い	11. 22	加藤祥平
飾り金具の意匠	27. 1. 10	薄田大輔
他会記からみる利休	2. 21 大日本茶道学会副会長	田中仙堂
ひな祭りさまざま	3. 7	四辻秀紀

4. 夏期講座「復古やまと絵 —新たな王朝美の世界—」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
復古やまと絵と田中訥言について	26. 8. 19	名古屋城学芸員 朝日美砂子氏
金刀比羅宮と冷泉為恭	〃	名古屋大学大学院教授 伊藤大輔氏
尾張の復古やまと絵	8. 20	吉川美穂
浮田一蕙とその画業	〃	薄田大輔
見学会 (永照寺・本覚寺・大樹寺・岡崎市美術博物館)	8. 21	

5. 能楽講座「尾張徳川家の能『羽衣』」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
羽衣と白鳥処女伝説	26. 4. 12	歌人 馬場あき子氏
天女のお顔は？何を召されますか？	5. 10	シテ方観世流 観世喜正氏
天人の舞曲とは	6. 29	笛方藤田流家元 藤田六郎兵衛氏

6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
関ヶ原の戦いの舞台裏-黒田官兵衛と長政-	26. 6. 7	竹内 誠
江戸初期の将軍宣下	6. 14	深井雅海
藩祖徳川義直と付家老	6. 28	白根孝胤
木曾谷支配と材木生産	7. 5	芳賀和樹
徳川家康をめぐる女性たち(一)	7. 12	藤田英昭
〃 (二)	7. 19	〃

## 7. ギャラリー・トーク

ケータイ美術	安藤香織	26. 6. 22・26
装いの美	加藤祥平	11. 21・28
年の初めのためしとて	四辻秀紀	27. 1. 10・17

## 8. 古美術相談会

6回開催6件。この他に写真の郵送、来館などにより計18件の古美術相談を行った。

## 9. 体験講座 ー日本の伝統文化にふれるー

聞香	10件 計173名
貝あわせ	11件 計218名

## 10. 特別企画

- (1) 端午の節供 特別企画 親と子の甲冑教室2014 のべ来場者 500名 (26. 5. 5)
  
- (2) 夜間開館イブニングトーク (8. 8)
  
- (3) 天下統一展企画「くまモン来館」 (8. 17)
  
- (4) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画
  - ① 目で見える雛まつり 十二単着装公開(2回) 来場者約700名 (27. 2. 28)
  - ② オリジナル 香袋・文香をつくる 120名 ( 3. 14)
  - ③ 雛まつり満喫プラン 120名 (27. 2. 14、3. 12・15)
  - ④ 椿のコサージュづくり 25名 ( 3. 22)
  - ⑤ 雛のつるし飾り講座 68名 ( 3. 22)

## 11. 夏期夜間延長開館 26. 8. 8～10

隣接する徳川園が夏期に開館時間を延長するのに合わせ、当館でも上記3日間に限り、開館時間を2時間延長して午後7時まで開館した。

## 12. 学芸員実習 8名 (26. 7. 31～ 8. 7)

### 1 3. 特別観覧

26年度は以下の通り計15件の特別観覧申請に応じた。

- (1) 26年4月 川本基史氏(NHK名古屋)ほか3名
- (2) 5月 内田篤呉氏(MOA美術館)ほか2名
- (3) 小井川理氏(神奈川県立歴史博物館)
- (4) 下山浩二氏(名古屋城総合事務所)ほか12名
- (5) 6月 野中耕介氏(佐賀県立美術館)
- (6) 山本英男氏(京都国立博物館)
- (7) 藤岡道子氏(京都聖母女学院短期大学)
- (8) 7月 森道彦氏(京都府京都文化博物館)
- (9) 8月 藤本孝一氏(龍谷大学)
- (10) 9月 浅野和同氏(饒津神社)ほか22名
- (11) 27年 1月 鷺頭桂氏(九州国立博物館)ほか2名
- (12) 野尻かおる氏(荒川区荒川ふるさと文化館)ほか2名
- (13) 2月 刑部芳則氏(日本大学)
- (14) 3月 六人部克典氏(東京国立博物館)ほか1名
- (15) 栗原智子氏(JALブランドコミュニケーション)ほか6名

### 1 4. 大学等非常勤講師としての出講の承認

四辻秀紀	①南山大学	前期
	②愛知淑徳大学	後期
	③中京大学	秋学期集中
原 史彦	①名古屋芸術大学	通年
吉川美穂	①同朋大学	前期
	②名古屋芸術大学	後期集中
	③椋山女学園大学	集中

その他、外部機関からの依頼を受け、随時職員を派遣した。

## 15. 職員の委嘱

四辻秀紀

- ①財団法人 芭蕉翁顕彰会 参与 21. 3. 23～調査終了時
- ②愛知県県史編さん委員会 (典籍班) 24. 4. 1～調査終了時

原 史彦

- ①愛知県県史編さん委員会特別調査委員 (近世史) 24. 5. 1～調査終了時
- ②東京大学史料編纂所特定共同研究員 25. 4. 1～26. 3. 31

吉川美穂

- ①愛知県県史編さん委員会特別調査委員 (近世絵画史) 19. 4. 1～調査終了時

並木昌史

- ①愛知県県史編さん委員会調査協力員 26. 12. 18～28. 10. 31

加藤啓子

- ①文化庁 平成26年度「博物館の管理運営に関する研修」企画運営会議委員  
26. 5. 21～27. 3. 18

## 16. 館長講演活動

館長 徳川 義崇

(主催)

(演題)

- (1) 玉屋庄兵衛後援会26年度総会 対談「尾張徳川家の底力 26. 6. 27  
～尾張名古屋を繁栄に導いたエネルギー～」
- (2) 北海道立近代美術館 「“殿”文化を語る」 26. 7. 5  
「尾張徳川家の至宝」展
- (3) 日本バーチャルリアリティ学会 「文化を残す意義と努力ー尾張徳川家を例にとってー」 26. 9. 18
- (4) 国家公務員共済組合連合会 「文化を守る」 26. 10. 22
- (5) 尾張地区ロータリークラブ 「文化を守る」 27. 1. 24

## 17. 雑誌・報道広報資料作成

(1) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

(2) ニュースレター作成

①企画展プレスレビュー

将軍からのおくりもの、ケータイ美術、天下統一、復古やまと絵、装いの美、  
尾張徳川家の雛まつり

②文化記者クラブ 毎月1回 企画展取材依頼

③記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

④定期研究発表会、記念講演会、新春プレゼント掲載依頼

⑤親と子の甲冑教室、十二単着装公開、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教室、  
掲載依頼

⑥土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、十二単着装公開、  
刀剣イベント 取材依頼

⑦特別公開「国宝 源氏物語絵巻」・「泪の茶杓」

18. ホームページ・フェイスブックの随時更新、英語版美術館紹介プログラム「Simpleshow」  
公開、Wi-Fi設備設定、Wi-Fi用アプリケーションの作成・実験配信

## 19. 生徒・学生への教育普及活動・館外出張講座

(1) 土曜子ども教室

26.4.6～27.3.28 46日実施 子ども818名・大人441名 合計1,259名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日3回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」（月替わりで収蔵品を紹介）、「体験タイム」（月替わりで大名文化を体験）、常設展展示室での展示解説。

(2) 大名の歴史と文化伝承プログラム「夏休み子ども歴史教室」

名古屋市立小中学校ほかにポスター作成・配布		500枚
ギャラリー・クイズ	8. 1～8. 31	1, 543名
小中学生の歴史教室「戦国時代」	〃	1, 248名
歴史文化体験「遊んで作ろう貝あわせ」	〃	669名

(3) 体験学習受け入れ・出張教室

<受け入れ>

名古屋外国語大学留学生30名、実践女子学園中等部修学旅行280名、葵小学校34名、明和高校スーパーサイエンススクール90名、名古屋大学留学生10名、大山田東小学校100名ほか貝あわせ、刀解体・組立、子ども出世すごろくなどの体験後、館内を見学した。

そのほか分散学習や質問に対応、のべ72団体。

<出張教室>

5. 17 春日井市立城北小学校、6. 11 高針小学校、9. 10 瀬戸市祖母懐小学校、  
1. 30 北名古屋市立師勝東小学校、10. 22 志水小学校にて実施。

20. 中学・高校・大学 職場体験・訪問の受け入れ

職場体験として中学生6校27人、高校教諭1人、職場訪問として中学1校10人を受け入れた。

21. 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 26. 7. 30

小中学校から20名参加。

22. 他施設との協力事業

(1) 中日文化センターとの連携

対談 徳川宗春の通説と実像	26. 4. 13	東海学園大学特任教授 安田文吉氏
		高野山真言宗高家寺住職 北川宥智氏

(2) 中日劇場との連携

触れてみよう文楽in 徳川美術館 26. 5. 6

(3) やっとかめ文化祭 まちなか寺子屋

源氏物語と十二単、かさねの色に秘められた物語とは？

	仙石宗久氏・加藤純子氏・四辻秀紀	11. 15
徳川慶勝と明治維新	原 史彦	11. 22

(4) 名古屋城との連携

名古屋城から割り当てられたブースで、入館券・ミュージアムグッズ等の物販及びチラシ配布を実施

- \*名古屋城梅祭り 26. 4. 5・6
- \*名古屋城宵祭り 8. 8～17
- \*地域交流ブース 11. 15・16

(5) 文化のみち 雛巡りスタンプラリー 27. 2. 8～3. 15

文化のみち7施設と連携して、各施設で雛祭り関連企画を実施。

ちらし10,000枚を各施設で配布、参加者6,225名(台紙配布数)4施設以上を巡った人数824名

2 3. 美術館連携活動

(1) 私立美術館会議 (平成3年より)

- 幹事館会 26. 6. 20 開催 於 サントリー美術館
- 第24回 私立美術館会議 26. 10. 17 開催 於 倉敷国際ホテル
- 幹事館会 26. 9. 19 開催 於 出光美術館

(2) 大名道具収蔵館研究会 (平成4年より)

- 第21回 研究会 25. 3. 3 開催 於 徳川美術館

2 4. 文化庁平成26年度文化芸術振興費補助金(伝統文化親子教室事業)

大名の歴史と文化伝承プログラム 夏休み子ども教室・土曜子ども教室(7/5～1/31)

\*補助金 373,958円

2 5. 第93回名古屋市文化史教室 (事業提携)

夏休み子ども教室を名古屋市と共催した。

\*補助金・助成金等の交付なし

## 〔4〕展覧会

### 1. 常設展示(第1～6室)

(1)大名の生活と文化	約1ヶ月毎に展示替		
		常設展示入場者数(企画展示期間を除く)	10,898人
(2)特別公開	国宝 源氏物語絵巻 竹河二・東屋二	26. 11. 15 ～ 11. 24	第5室
(3)特別公開	千利休 泪の茶杓	27. 2. 21 ～ 3. 1	第2室

### 2. 企画展示 (第7～9室)

		(会 期)	(入場者数)
(1)春季特別展	將軍からのおくりもの -儀礼と拝領-		
	(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	26. 4. 12 ～ 5. 25	22,918人
(2)企画展示	ケータイ美術 -もちあるく道具の形と機能-		
	(日本経済新聞社共催)	5. 31 ～ 7. 21	21,386人
(3)企画展示	天下統一 -信長から家康へ-		
	(朝日新聞社共催)	7. 26 ～ 9. 28	34,298人
(4)秋季特別展	復古やまと絵 新たなる王朝美の世界 -訥言・一蕙・為恭・清-		
	(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	10. 4 ～ 11. 9	21,959人
(5)企画展示	装いの美 -大名のおしゃれ-		
	(朝日新聞社共催)	11. 15 ～12. 14	16,675人
(6)企画展示	年の初めのためしとて		
	(日本経済新聞社共催)	27. 1. 4 ～ 2. 1	8,809人
(7)特別展	尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 7 ～ 4. 5	46,320人
		企画展示入場者数合計	172,365人1
		平成26年度総入場者数	183,263人

### 3. 特別観覧

	(会期)	(入場者)
(1) 名香鑑賞会	26. 4. 19、20 (2日間)	497人
(2) 徳川茶会	25. 10. 12～11. 3(9日間)	2,878人

### 4. 蓬左文庫展示室

展示室1・2	春季特別展 歿後250年記念 徳川宗春 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	26. 4. 12～ 5. 25
展示室1	尾張徳川家の若君・姫君	5. 31～ 7. 13
2	名古屋まつりと山車揃え	
展示室1	墨 一黒の世界一	9. 3～ 9. 28
2	第一次長州征伐と尾張藩	
展示室1・2	復古やまと絵 新たなる王朝美の世界 一訥言・一蕙・為恭・清一 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	10. 4 ～ 11. 9
展示室1・2	蓬左文庫・徳川園新装オープン10周年記念 古典文学の世界 大名文化と古典	11. 15～ 12. 14
展示室1	飾り金具・源氏物語の世界	27. 1. 4～ 2. 8
2	江戸時代の名古屋をさぐる一城・まち・ひと一	
展示室1	ひなの世界・源氏物語の世界	2. 11～ 4. 5
2	江戸時代の名古屋をさぐる一城・まち・ひと一	

### 5. 巡回展

「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」	北海道立近代美術館	26. 7. 5～ 8. 24
「尾張徳川家の名宝 一優美なる茶と香の世界一」	広島県立歴史博物館	10. 17～11. 30

6. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

(出陳先)	(展覧会名称)	(期 間)	(出陳品)
Los Angeles County Museum	Chinese Paintings from Japanese Collections	2014/5/11 ～7/6	龍図 等計3件
大和文華館	社寺の風景 宮曼荼 羅から祭礼図へ	5/23～6/29	春日曼荼羅図等 計3件
サントリー美術館	徒然草 美術で楽し む古典文学	6/11～7/21	徒然草絵巻
北海道立近代美術館	尾張徳川家の至宝展 (徳川美術館展)	7/5～8/24	源氏物語絵巻等 計233件
岐阜県現代陶芸美術館	古田織部400年忌 大織部展	9/6～10/26	白天目 等計11件
筆の里振興事業団	日本の書と筆の宇宙	9/10～11/10	官次第 等計3件
佐賀県立美術館	岡田三郎助 エレガンス・オブ・ニッポン	9/19～11/16	油彩伊豆山風景図
根津美術館	名画を切り、名器を 継ぐ—美術にみる愛 蔵のかたち—	9/20～11/3	洞庭秋月図等 計3件
MOA美術館	又兵衛「豊国祭礼図 屏風」と「浄瑠璃物 語絵巻」	9/26～10/28	豊国祭礼図屏風
神奈川県立歴史博物館	白絵 祈りと寿ぎのか たち	10/11-12/12	天児 等計11件
三井記念美術館	東山御物の美 足利将軍家の至宝	10/4～11/24	古銅雨龍形筆架 等 計11件
株式会社 瀬津雅陶堂	雅展第6回 「宋風文化の真髄」	10/10～10/14	洞庭秋月図
和泉市久保惣記念美術館	微の美術—日本・中 国の小ささと緻密さ への造形—	10/10～11/30	古銅山形筆架 等 計8件
文化学園服飾博物館	大学創立50周年記念 展示「雛人形・雛道具 に映し出された雅の 世界」	10/10～11/22	秩父宮勢津子妃殿下 雛道具 等計123件
茶道資料館	茶の湯の名碗	10/10～12/7	建蓋天目
東京国立博物館	日本国宝展	10/15～12/7	源氏物語絵巻 等 計3件
広島県立歴史博物館	広島歴博 尾張徳川家 の名宝 優美なる茶と 香の世界	10/17～11/30	駿府御分物御道具帳 等計122件

(出陳先)	(展覧会名称)	(期 間)	(出陳品)
五島美術館	特別展「存星」	10/25～12/7	梅花文彫漆香合 等 計5件
大阪市立美術館	うた・ものがたりの デザインー日本工芸 にみる《優雅》の伝 統ー	10/28～12/7	葦手古今和歌集切 等計4件
犬山城白帝文庫	犬山城と成瀬家	11/6-12/15	松平正久他書状 等 計2件
NHKプロモーション	古田織部展	12/30～ 2015/1/23	高麗紫石硯 等 計3件
九州国立博物館	海の道、アジアの路	1/1～1/25	初音蒔絵櫛箱 等 計2件
富山県水墨美術館	源氏物語絵巻 復元模 写に見る王朝美の世 界	1/16～3/1	田中親美筆 源氏物 語絵巻模本 等 計18件
東京都江戸東京博物館 京都府京都文化博物館 福岡市博物館	大関ヶ原展	3/28～10/4	関ヶ原合戦絵巻 等 計7件

## 〔5〕編 集

### 1. 特別展図録(部内)

#### (1) 春季特別展「徳川宗春」

・編集および図版解説 原 史彦

#### (2) 春季特別展「将軍からのおくりものー儀礼と拝領ー」

・編集および図版解説 並木昌史・吉富真知子

#### (3) 秋季特別展「復古やまと絵 新たなる王朝美の世界ー訥言・一蕙・為恭・清ー」

・田中訥言と復古やまと絵 吉川美穂

・浮田一蕙の生涯と画業 薄田大輔

・冷泉為恭墨絵試論 薄田大輔

・渡辺清の画業と作品 吉川美穂

・編集および図版解説 吉川美穂・薄田大輔

## 2. 特別展図録(部外)

### (1) 広島県立歴史博物館 尾張徳川家の名宝—優美なる茶と香の世界—

- ・徳川美術館の茶の湯・香のコレクション 四辻秀紀
- ・編集および図版解説 四辻秀紀・安藤香織・吉富真知子

## 3. 金鯨叢書

### (1) 第41輯

- ①徳川義親の美術館設立想起 総務部非常勤学芸員 香山里絵
- ②新出史料「徳川家康書状 豊臣秀保宛」および「式御成之次第」について  
一文禄四年、豊臣秀吉の徳川邸御成に関する史料的考察— 原 史彦
- ③「中殿御会図」の修理報告 吉川美穂

### (2) 第42輯

- ①春日宮曼荼羅の一遺例 安藤香織
- ②明倫博物館から徳川美術館へ —美術館設立発表と設立準備 香山里絵
- ③徳川美術館蔵青磁尊形瓶に関する一考察—尾張徳川家の蔵帳にみる名称— 吉富真知子
- ④新出の与謝蕪村筆「奥の細道図巻」模本について 加藤祥平
- ⑤「葉月物語絵巻」の修理による新知見 四辻秀紀
- ⑥狩野山雪筆「雲龍・雪梅・風竹図」 薄田大輔

## 〔6〕 図 書

### 1. 図書

図書は、『大徳寺伝来五百羅漢図』（奈良国立博物館・東京文化財研究所編／思文閣出版）、『江戸・明治「おもちゃ絵」』（上野晴朗・前川久太郎著／日本図書センター）、『尊経閣文庫蔵 諸国居城図』（前田育徳会尊経閣文庫編・発行）、『茶器名物図彙』（草間直方著／文彩社）、『中世文学と隣接諸学』シリーズ（竹林舎）などの他、『大東急記念文庫善本叢刊』（汲古書院）、『史料纂集 古記録編』（八木書店）、『ものと人間の文化史』シリーズ（法政大学出版局）などの継続により、計129冊を購入。また、『尊経閣善本影印集成51 禁秘御抄』（前田育徳会尊経閣文庫編／八木書店）、『冷泉家時雨亭叢書 別巻三』（冷泉家時雨亭文庫編／朝日新聞社）、『日本美術全集 5巻・6巻・12巻』（小学館）など計353冊の寄贈を受けた。

## 2. 雑誌

雑誌は、『國華』（國華編集委員会編／國華社）、『佛教芸術』（佛教藝術學會編／毎日新聞社）、『美術史学研究』（韓國美術史學會）、『文物』（文物編集委員会／文物出版社）、『故宮學術季刊』（國立故宮博物院）などの定期購読のほか、計342冊を購入。また、『茶道の研究』（日本茶道学会／三徳庵）、『美術研究』（東京文化財研究所）、『MUSEUM』（東京国立博物館）、『茶の湯文化学』（茶の湯文化学会）ほか、多数の寄贈を受けた。

## 〔7〕館藏品コンピューター入力

1. キャプション・解説カード作成・データ入力
2. 展示作品リスト（来館者用）作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力

## 〔8〕広報活動

### 1. 来館者誘致活動

#### （1）団体来館者の利用促進（平成26年度実績 20,866名）

- \*旅行会社への働きかけ（関東、近畿、北陸、東海の大手旅行社・バス会社への働きかけ）
- \*PTA・大学同窓会など学校関係への働きかけ
- \*学会・協議会などへの会場貸出の資料送付
- \*地元企業への営業活動、社内報への記事掲載
- \*名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- \*大学メンバーシップルートでの展覧会等情報提供の実施

#### （2）個人来館者の利用促進（平成26年度実績 162,397名）

##### ①旅行会社、名古屋鉄道への広報宣伝協力要請

- \*名鉄中吊りポスターとチラシの設置要請  
特別展「尾張徳川家の雛まつり」
- \*各旅行会社へ個人旅行向けのパンフレットに情報掲載（JTB・近ツー・JR東海）

## ②前売券の販売促進

\*26年度も百貨店友の会（4店舗）での販売を行った。

他にプレチケ、チケットぴあ、ローソンチケット、東海4県生協で販売実績

\*愛知県生活協同組合で割引券の取り扱い開始

\*ウェスティンナゴヤキャッスルにて宿泊プランを実施（雛まつり展）

\*雛まつり展「雛満喫プラン」

\*チケットぴあ法人営業にて前売り券の販売開始

\*福利厚生クラブ(RELO CLUB)にて入館券の割引き提携開始

\*名古屋市交通局定期券販売所(名古屋・栄・金山駅)にて販売開始

\*刀剣ブームに対応して、刀剣勉強会イベント「刀剣ファンビギナーズ」を開催した。

## ③近隣地域・施設・組織との連携

\*大曽根商店街との連携（駅から道沿いの店舗でポスターの掲示）

\*瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携

\*東区、北区にて聞香体験会のチラシ配布に、町内会ネットを利用した。

\*JR・地下鉄のウォーキング時に割引券付きチラシを配布

\*マリオットアソシアホテル ロビーでの甲冑・屏風展示 展示中、パンフレット・ちらし配布

## ④各団体と連携したスタンプラリーを実施

\*名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施(4月・9月)

\*愛知観光協会と産業観光スタンプラリーを実施(6月)

## ⑤定期的に各体験講座を実施

\*和の香りを楽しむ聞香体験講座(6月・11月)

## ⑥夜間貸出および会場貸出

\*大学(学会関係)の夜間貸し出し1件

\*行政関係の夜間貸し出し1件(2日間実施)

\*企業(医療関係)の夜間貸し出し1件

\*旅行会社(クラブツーリズム)の休館日貸出1件

## ⑦賛助会・友の会

平成25年度は、賛助会会員のための企画展内覧会を例年通り随時開催した。友の会については平成26年2月に現会員(平成25年度)に入会案内を送付した。

賛助会法人会員については、榊住まいの一番が新規に加入。

※会員状況 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

賛助会

会員種類	会員数	前年比
個人会員	129件(147口)	18件減
家族会員	27件(27口)	3件減
法人会員	56件(56口)	0

7件新規加入

友の会 (一般会員360名中9名が半期入会(4,320円)の会員)

会員種類	会員数	内 訳		前年比
		新規	継続	
一般会員	360件(360口)	65件	295件	15件減
情報会員	27件(27口)	2件	25件	8件減

2. 大学メンバーシップの加盟校募集活動

平成26年度は愛知学院大学の教職員、愛知工業大学の同窓会組織である名古屋工業会が新たに加盟した。平成27年3月31日現在、加盟校は以下の通りである。

愛知学院大学\* 愛知県立芸術大学\* 愛知県立大学\* 愛知工業大学\* 愛知産業大学\*  
 愛知淑徳大学 桜花学園大学\* 名古屋短期大学 金城学院大学 椋山女学園大学  
 中京大学\* 中部大学\* 東海学園大学\* 同朋大学\* 名古屋工業会  
 名古屋大学\* 名古屋学院大学\* 名古屋外国語大学 名古屋芸術大学\* 名古屋工業大学\*  
 名古屋市立大学\* 名古屋造形大学\* 南山大学\* 名城大学 名古屋文化短期大学\*  
 名古屋学芸大学\* 名古屋学芸短期大学\* 名古屋ファッションビジュアル専門学校\*

(計28校) \*は教職員も加盟している学校

3. 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致・会場貸出

- (1) 夏期夜間延長開館 26. 8. 8～10
- (2) 時間外会場貸出 26. 2. 7名古屋駅ちかウォーキング、9. 5 国際ホリフェール会議、  
3. 11 名鉄観光、11. 11・12 ESDユネスコエクスカーション、  
27. 1. 25 郵船クルーズ、2. 4、3. 9 クラブツリズム
- (3) 時間内会場貸出 愛知県教員研究発表会

4. 刊行物・印刷物の作成・配布

(1) ポスター・パンフレット作成

(徳川美術館パンフレット、土曜子ども教室 ポスター・パンフレット、夏休み子ども特別企画 ポスター )

(2) 割引券・年賀状・招待券作成

(3) 優待券作成

(4) 美術館たより「葵」の作成

第90号 4月1日発行

エッセイ「徳川宗春と将軍吉宗ー今日に通じる二人の主張ー」

東京学芸大学教授 大石 学

第91号 7月1日発行

エッセイ「ドラマはドラマ。史実は史実」

落語家 春風亭昇太

第92号 10月1日発行

エッセイ「「復古大和絵師 為恭ー幕末王朝恋慕」展の思い出」

大和文華館学芸部長 中部義隆

第93号 1月1日発行

館長新年あいさつ・27年企画展(予定)

## 5. プレスレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1) 将軍からのおくりもの・徳川宗春展テブカット	26. 4. 11	3	5
(2) 端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	1	1
(3) ケータイ美術	5. 30	3	2
(4) 天下統一	7. 25	5	3
(5) 復古やまと絵	10. 3	3	1
(6) ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館	10. 9	4	4
(7) 装いの美	11. 14	0	2
(8) 特別公開 国宝源氏物語絵巻	11. 15	1	2
(9) 年の初めのためしとて	27. 1. 4	1	0
(10) 尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 6	3	4
(11) 特別公開 泪の茶杓	2. 21	1	0
(12) 十二単着装公開	2. 28	2	1
(13) 脇指 鯰尾藤四郎		5	3

## 6. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ 歴史人、大人のoff、ひととき ほか

## 7. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件  
 キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、  
 名鉄の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示

## 8. ボランティア業務の運営

(1) 登録者数 336名

(2) 展示解説

①平日の解説

②土・日・祝日の展示解説

③土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習や団体学習

④申し込み団体への解説

・概要解説 87件(延べ人数 2,300名)

・体験講座(聞香・貝あわせ)ー日本の伝統文化にふれるー 21件(延べ人数 391名)

⑤英語対応ボランティアの組成、台本作成

(3) 行事

懇親会(実施せず) 記念品贈呈 27. 2. 1~3. 31 381名(対象)

(4) 研修

①名古屋東照宮見学会 26. 4. 17

②平成25年度ボランティア研修 4. 22・23・25・26・27

③平成26年度ボランティア研修 27. 3. 25・26・28

(5) その他の活動

①学芸部・企画推進部業務支援 1名

②特別専任ボランティア 7名

③講座等題字作成 1名

④館内生け花 1名

(6) 他館との交流

①大津市ボランティア 26. 8. 1

②美濃加茂市民ミュージアム ボランティア 27. 1. 24

## [9] 管 理

1. 以下のような建物・設備の営繕工事を行った。

- 空調自動制御機器電動バタフライ弁取替
- 本館空調機（AH6）ダンパー装置取替
- 空調機自動制御盤内直流電源取替
- 空調中央監視盤バッテリー取替
- 新館湿度センサー取替
- 新館外壁クリーニング
- 中庭桜植え替え
- 宝善亭パッケージエアコン修繕
- 消防設備不具合箇所取替
- 敷地南側樹木伐採
- 中庭仮設屋根修繕
- 山ノ茶屋修繕
- 空調自動制御盤内信号中継機器取替
- 本館旧玄関天井照明修繕
- 空調冷温水配管設備取替
- 講堂用空調機防水工事

事業計画で予定していた下記事業は翌年度以降に繰り越した。

- 高圧受変電設備計器用変圧器

2. 下記の備品を購入した。

- 入館券売用レジスター

## 〔10〕第23回徳川美術館運営懇話会

開催日 平成26年9月2日（火）午後4時30分から5時45分

開催場所 徳川美術館 貴賓室

出席委員 一般社団法人中部経済連合会会長 三田敏雄氏、愛知県知事 大村秀章氏  
名古屋市長 河村たかし氏、名古屋鉄道(株)代表取締役会長 河野英雄氏、  
(株)三菱東京UFJ銀行常任顧問 古角保氏、名古屋商工会議所会頭  
岡谷篤一氏、トヨタ自動車(株)顧問 立花貞司氏、公益財団法人徳川黎明会会長  
・徳川美術館館長 徳川義崇（8名）

欠席委員 中部電力(株)社長 水野明久氏（1名）

議事進行 議題1 委員交代の件

高橋治朗名古屋商工会議所会頭が退任、後任は岡谷篤一氏

佐々和夫株式会社三菱東京UFJ銀行顧問が退任、後任は古角保常任顧問

豊田英二トヨタ自動車株式会社最高顧問が退任、後任は立花貞司顧問

議題2 徳川美術館の運営報告

専務理事が平成25年度の展覧会事業等の報告を行った。引き続き長谷管理部課長が平成25年度の収支状況の報告を行った。

議題3 報告

徳川会長より徳川美術館の近況報告を行った。

## 〔11〕徳川園調整会議、企画・業務部会への参加

下記のように開催され、職員が適宜出席した。

### 1. 徳川園調整会議

開催日時 平成27年1月30日（金）午前10時00分～12時00分

- 議 題
- ・各施設の本年度実績と来年度計画
  - ・徳川園および徳川美術館敷地内施設の登録文化財について
  - ・徳川園・蓬左文庫新装オープン記念式典について
  - ・平成27年（2015）徳川美術館・蓬左文庫開館80周年について

### 2. 徳川園企画・業務部会

開催日時 平成26年1月15日（木）午後3時～4時

- 議 題
- ・各施設事業の実施状況
  - ・来年度の事業計画の概要
  - ・調整会議に向けての意見調整

## 〔12〕活動支援基金

### 1. 寄附金受付業務

寄附金額 26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

8,212,000 円 法人 4 件（6.0口） 個人65 件（761.20口）

但し、個人1件 5,000,000円は指定正味財産の受取寄附金として処理。

#### 参考

平成23年度 (23. 4. 1～24. 3. 31)	平成24年度 (24. 4. 1～25. 3. 31)	平成25年度 (25. 4. 1～26. 3. 31)	平成26年度 (26. 4. 1～27. 3. 31)
法人 27件 4,160,000円	法人 10件 3,540,000円	法人 11件 1,510,000円	法人 6件 600,000円
個人258件 8,440,000円	個人 67件 4,650,000円	個人183件15,892,500円	個人65件7,612,000円
計 12,600,000円	計 8,190,000円	計 17,402,500円	計 8,212,000円

### 2. 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（法人は10口以上、個人は30口以上） 敬称略

個人 加藤みゆき 長澤弘宣 深井雅海 浅井みちよ 志水正男

### 3. 寄附金の使途

〔文化財保存事業〕

修理

紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文鎧下着 一領 1,071,360円

### 〔13〕 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」

平成24年度より平成27年度完了予定で文化財関係国庫補助事業として、国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面の修理を行った。このうち平成25年度分として、平成26年4月28日付けで国庫より交付を受けた。また平成25年度の愛知県からの随伴補助として、平成26年5月21日付けで県費の交付を受けた。）

なお、この事業にかかる平成26年度の補助金は年度替わりの平成27年度に入金のため、この分についての報告は次年度に行う。

〔対象文化財名〕 国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面  
(紙本著色源氏物語絵巻)

[公 2]

林政史の調査研究事業(徳川林政史研究所)

[1] 調査・研究

1. 研究

( 課 題 )	( 担 当 )	( 開 始 )
① 近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年4月
② 江戸の園地政策	副 所 長	深井 雅海 // 18年4月
③ 尾張藩幕末維新史の研究	研 究 員	藤田 英昭 // 24年4月
④ 近世弘前藩領における地域社会と山林	非常勤研究員	萱場 真仁 // 26年4月
⑤ 近代山村史の研究	特任研究員・筑波大学教授	加藤 衛拓 // 26年4月
⑥ 近世尾張藩領木曾山における林業生産の構造	特任研究員	大崎 晃 // 25年4月
⑦ 近世期入会地所有と山林資源 の有効活用に関する研究	非常勤研究員	高木 謙一 // 26年4月
⑧ 近世江戸後期における 江戸幕府林政の展開	國學院大學栃木短期大学准教授	坂本達彦 // 26年4月

2. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)による研究

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

①特定奨励費

交付機関 独立行政法人日本学術振興会\*  
研究事業名 日本林政史の調査・研究・普及活動に関する事業  
申請者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所  
\*平成26年度より特定奨励費の交付業務が日本学術振興会に移管された。  
審査業務は引き続き文部科学省で行われている。

②基盤研究(B)

交付機関 独立行政法人日本学術振興会  
研究課題名 江戸武家地の空間変容に関する文理統合的研究  
研究分担者名 渋谷葉子(非常勤研究員)

### 3. 史料調査

#### ① 自主事業による史料調査

たつの市立龍野歴史文化資料館史料調査（上廣倫理財団助成事業）	26. 6.28～ 7. 1
金原明善記念館・磐田市歴史文書館史料調査（        "      ）	26. 7.12～ 7.14
国立公文書館つくば分館史料調査（        "      ）	27. 2.18 及び 2.20

#### ② 科学研究費補助金（特定奨励費）補助事業による史料調査

林政史アーカイブズ調査	
秋田県公文書館所蔵史料調査	26. 5.10～ 5.13
長野県立歴史館所蔵史料調査	26. 9. 5～ 9. 7
飛騨高山まちの博物館・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査	26.12. 6～12. 9
多摩市教育委員会所蔵史料（パルテノン多摩）調査	27. 2.22 及び 2.28

### 4. 研究会開催

- ① 26. 8.13 於 徳川林政史研究所  
近世後期における幕府林政の展開－上州山中領を事例に－ 坂本 達彦
- ② 26.10.31 於 徳川林政史研究所  
徳川義禮の英国留学－ユニテリアン告白の意味－ 長沼 秀明  
近世牧周辺村々における林産資源の管理と利用 高木 謙一
- ③ 26.11.28 於 徳川林政史研究所  
徳川慶勝の上京と政治的立場－文久三年を中心に－ 藤田 英昭  
近世弘前藩領における「田山」と水源涵養林 萱場 真仁

## [2] 若手研究者の育成

### 1. 研究会開催

#### ① 第1回

26. 8. 1 於（公財）上廣倫理財団UFホール	
よしの冊子諸写本の比較	橋本 佐保
近世武家社会と献上儀礼－尾張藩年寄渡辺半蔵家の事例を中心に－	井浪 直人
近世後期における一農民の対外観－「禦蠻策」を事例に－	櫻庭 茂大
近世弘前藩領における水源涵養と田山	萱場 真仁
大奥への献上の手続きと承認基準について	吉成 香澄
近世山村地域の形成過程－出羽国秋田郡小猿部地域を事例に－	栗原 健一
御林から官林へ－受け継がれた資源・人材・記録－	芳賀 和樹
治山治水と民衆の力－金原明善とその周辺	藤田 英昭

② 第2回

27. 3. 6 於 豊島区立勤労福祉会館 第7会議室

町奉行所与力同心の文化活動	滝口 正哉
輪王寺宮の権威と新宮のあり方―「浅草寺日記」と公遵法親王を中心に―	浦井 祥子
献上儀礼と享保七年の献上物規制における尾張徳川家の対応	塚田 沙也加
近世武家社会と献上儀礼―尾張藩における万石以上の陪臣を事例として	井浪 直人
「浅草寺日記」に見る唐銅奉納物の造立経緯―万字屋伊與奉納一件を中心に―	中村 洋子
近世香取神宮の修理料について	川島 孝一
最上徳内と蠟製法の展開―文化・文政期の動向	桐生 海正
江戸幕府奏者番の選任基準―石高・殿席・家筋を中心に―	高田 綾子
江戸城「大奥」女性と御用屋敷	渋谷 葉子

[3] 編集・刊行

1. 「研究紀要」第48号 寄贈・頒布業務

印刷部数 650部 内、寄贈・交換 546冊 頒布39冊

2. 金鯨叢書42輯(「研究紀要」第49号) 編集・刊行

(平成26年度より徳川林政史研究所の単独発行を中止し、金鯨叢書に一本化した。金鯨叢書の林政史研究所執筆部分を『徳川林政史研究所研究紀要』として単独刊行時からの通し番号を付与し林政史研究所の『研究紀要』とする。)

①材木商・中村屋七兵衛考	竹内 誠
②幕末期木曾山の林業・山村と政治社会構造	大崎 晃
③上州山中領における山守制の展開と幕府林政	坂本 達彦
④近世佐倉牧周辺村々における林産資源の管理と利用	高木 謙一
⑤徳川慶勝の上京と京都体験	藤田 英昭
⑥徳川義禮の英国留学	長沼 秀明
⑦『新修 徳川家康文書の研究』第二輯 補遺	徳川 義宣

## [4] 史料の収集整理

### 1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- ① 尾張徳川家文書（尾5）の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った（平成26年度は580点整理・入力済み、見積総数1,812点のうち計1,722点完了）。
  - ② 尾張徳川家文書の合綴史料を整理し、目録カードを作成した（平成26年度は1,019点整理、見積総数5,500点のうち計4,524点完了）。
  - ③ 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（平成26年度は246点整理・入力済み、見積総数10,250点のうち計5,867点完了）。
  - ④ 三河国史料を整理し、データ入力を行った（平成26年度作業開始、総史料点数1,212件のうち、1,212件完了）
- ※ 見積総数：各史料群の点数は整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により新たに史料が確認されて点数が増加する見込であるため、整理中のものについては現時点で「見積総数」と表記している。

### 2. 研究用史料の写真撮影

研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- ① 秋田県公文書館所蔵史料（デジタルデータ 5,577コマ）
- ② 長野県立歴史館所蔵史料（デジタルデータ 1,652コマ）
- ③ 飛騨高山まちの博物館所蔵史料（デジタルデータ 357コマ）
- ④ 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ 645コマ）
- ⑤ たつの市龍野歴史文化資料館所蔵史料（デジタルデータ 1,113コマ）
- ⑥ 金原明善記念館所蔵史料（デジタルデータ 586コマ）
- ⑦ 磐田市歴史文書館所蔵史料（デジタルデータ 521コマ）
- ⑧ 国立公文書館つくば分館（デジタルデータ 6,577コマ）
- ⑨ 多摩市教育委員会所蔵史料（デジタルデータ 167コマ）

### 3. 所蔵史料のデジタルデータ化

研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料のデジタルデータ化を行った。

- ① ガラス板古写真のデジタルデータ化(21点21カット)
- ② 古文書のデジタルデータ化
  - ・ 外部委託によるデジタルデータ化  
(絵図:「尾張水絵図」他 カラー28点205カット)  
(文書:「礼物軌式」「御日記」他 カラー1,542コマ、モノクロ3,513コマ)
  - ・ デジタルマイクロリーダープリンター導入による自館でのデジタルデータ化  
(モノクロ「献上物図集」他436コマ)

[5] 所蔵史料の目録刊行

1. 尾張徳川家文書目録(十一) を金鯨叢書第42輯(研究紀要第49号)に収録刊行した。

[6] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座 徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催
- | (内 容)                    | (年 月 日)  | (講 師) | (参加者数) |
|--------------------------|----------|-------|--------|
| ① 林政史特別講座<br>1 1代将軍家斉と大奥 | 26. 9. 5 | 竹内 誠  | 89名    |
| ② 徳川斉朝の人物像と将軍家斉          | 9. 11    | 白根 孝胤 | 89名    |
| ③ 将軍家斉弟田安斉匡の戸山邸御成        | 9. 18    | 深井 雅海 | 90名    |
| ④ 弘前藩の蝦夷地警備と民衆           | 10. 2    | 萱場 真仁 | 84名    |
| ⑤ 旗本の娘が見た江戸城大奥           | 10. 9    | 藤田 英昭 | 89名    |
2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。
- | (内 容)  | (年 月 日)  | (講 師) |
|--|----------|-------|
| ① 関ヶ原の戦いの舞台裏—黒田官兵衛と長政—                       | 26. 6. 7 | 竹内 誠  |
| ② 江戸初期の将軍宣下                                  | 6. 14    | 深井 雅海 |
| ③ 藩祖徳川義直と付家老                                 | 6. 28    | 白根 孝胤 |
| ④ 木曾谷支配と材木生産                                 | 7. 5     | 芳賀 和樹 |
| ⑤ 徳川家康をめぐる女性たち(1)                            | 7. 12    | 藤田 英昭 |
| ⑥            "                           (2) | 7. 19    | "     |
3. 徳川林政史研究所公開講座「江戸と明治をつなぐ〈緑〉の歴史—森林と人の300年—」  
徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催  
26. 11. 8 於 豊島区立勤労福祉会館 6階大会議室  
参加者65名
- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| ① 特別上映「木曾の檜—よみがえる伐木・運材の姿—」  | 竹内 誠     |
| ② 森林政策から見た江戸時代—木々をめぐる領主と民衆— | 太田 尚宏    |
| ③ 御林から官林へ—受け継がれた資源・人材・記録—   | 芳賀 和樹    |
| ④ 治山治水と民衆の力—金原明善とその周辺—      | 藤田 英昭    |
| ⑤ 質疑・討論                     | 司会 栗原 健一 |

#### 4. 成果刊行

林政史に関する研究の成果として、江戸時代の林政史を一般向きにわかりやすく解説した『徳川歴史再発見－森林の江戸学Ⅱ』（東京堂出版 平成27年3月20日発行）を刊行した。

#### 5. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
徳川家康400回忌を記念して	しもつけ21フォーラム(於 日光東照宮))	26. 4. 12	竹内 誠
江戸の教育力	全国高等学校通信教育研究会	6. 7	〃
江戸の大相撲と浮世絵	太田記念美術館特別展記念	6. 14	〃
関ヶ原の戦いの裏舞台	長野県須坂市立博物館文化講演会	7. 12	〃
出雲国は相撲大国	松江歴史館特別展記念	8. 3	〃
江戸庶民の知恵と心	軽井沢夏期大学	8. 4	〃
善光寺信仰の広がり	善光寺如来開帳記念(於 長野市)	11. 6	〃
これからの博物館の任務と課題	福井県博物館協議会総会記念	11. 25	〃
日中韓の新たな博物館交流の在り方	第13回日中韓都市博物館学術会議 (於 北京市)	12. 2	〃
幕末時代の激動を生きた女性たち	京王文化セミナー	12. 11	〃
盛り場・両国 －江戸庶民の行動文化－	江東区自悠大学	12. 15	〃
日本の伝統・文化に学ぶ	東京都多摩地区教育推進委員会	27. 2. 13	〃
江戸の出版事情	練馬区立光が丘図書館開館20周年記念	2. 22	〃
徳川将軍直属の隠密、御庭番 －その成立と探索の実際－	日比谷図書館文化館江戸歴史講座	26. 10. 8	深井雅海
幕末における将軍の言葉	神奈川県土曜古文書会	11. 22	〃
新政府軍の東征と武蔵国	さいたま市民大学「記録に見る幕末から明治初期の埼玉」(さいたま市立博物館)	26. 10. 25	藤田英昭
徳川慶勝とその時代	「高須四兄弟－新宿・荒木町に生まれた幕末維新一」関連講座(新宿歴史博物館)	11. 29	〃
江戸城大奥関係の古文書を読む	パルテノン多摩古文書中級コース	27. 1. 18 ほか	〃

## 6. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、下記の調査・見学に協力した。

- ① 学習院大学「博物館実習」クラス（学芸員資格取得課程）の学外授業として、担当教員の付き添いのもと学生10名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。 26. 6. 5
- ② 聖心女子大学「資料整理実習」クラスの学外授業として、担当教員の付き添いのもと学生7名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。 27. 1. 15
- ③ 信州大学人文学部日本近世史ゼミの一環として、担当教員の付き添いのもと学生2名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。 27. 3. 16

## 7. 案内パンフレットの作成

- ① 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成26年度版を作成した。

## 8. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

## 9. 部外出講

- |           |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|
| ① 明海大学    | 日本の歴史 | 前期・後期 | 藤田 英昭 |
| ② 学習院女子大学 | 学習院史  | 前期    | 〃     |

## [7] 徳川美術館との連携

### 1. 展覧会への史料出陳

展覧会名称	会 期	出陳史料名
「将軍からのおくりもの」展	26. 4. 12 ～ 5. 25	「礼物軌式」五冊1件
「歿後250年記念 徳川宗春」展	26. 4. 12 ～ 5. 25	「築川陣屋絵図」「けいせい妻恋桜」等計5件
「大曾根御殿と徳川光友」展	26. 7. 16 ～ 8. 31	「瑞龍公実録」「鸚鵡籠中記」等5件

## 2. 研究協力

14代徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究をはじめ、歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川美術館学芸員と密接に連絡をとり合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

## [8] 図書の収集・整理

### 1. 図書整理

- ① 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、新着図書488冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

### 2. 図書の購入・受贈

- ① 図書は『近世刑事史料集 2』等195冊を購入。その他寄贈された図書293冊。
- ② 雑誌は『歴史学研究』等174冊を購入。その他寄贈された雑誌500冊。

## [9] 閲覧・複写・出陳・レファレンス業務

### 1. 閲覧

本研究所は約7万8000点の歴史資料(旧蓬左文庫所蔵史料・尾張徳川家文書・旧名古屋税務監督局所蔵史料・旧愛知県庁所蔵史料・写真資料など)を所蔵し、閲覧日を設けて定期的に所外研究者に対する閲覧の便宜を図っている。本年度の閲覧許可件数は43件、延べ閲覧者数367人に上った。

### 2. 史料複写

本研究所史料の複写申し込み件数は、本年度は110件であった。

うち、林政史研究所にて直接受け付けたのは107件、

愛知県公文書館にて閲覧許可している紙焼史料に対する複写申請は3件

であった。

この他、蓬左文庫で受け付けた二次複写申請は11件であった。

### 3. 所蔵史料の出陳

出陳先	展覧会名称	会期	出陳品
北海道立近代美術館	「尾張徳川家と北海道八雲町の深い関わり」	26. 7. 5 ～ 8.24	「書付 徳川慶勝」1件

## [10] 補助金関係

平成26年度に交付された以下の科学研究費助成事業(科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金)について 申請・報告事務と経費管理事務を行った。

※「科学研究費補助金事業」は、制度改革により「科学研究費助成事業」となり、(科学研究費補助金)と(学術研究助成基金助成金)に区分されているため、その区分に合わせた表記とした。

### 1. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)

①特定奨励費 申請者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所  
研究事業名 日本林政史の調査・研究・普及活動に関する事業  
交付機関 独立行政法人日本学術振興会\*  
\*平成26年度より特定奨励費の交付業務は文部科学省から日本学術振興会に移管された。

②基盤研究(B) 研究分担者 渋谷葉子  
研究課題名 江戸武家地の空間変容に関する文理統合的研究  
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

③基盤研究(B) 研究分担者 安藤香織(徳川美術館)  
研究課題名 高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相  
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

### 2. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

平成26年度は学術助成基金助成金による助成なし。

## [11] 事業評価委員会

平成27年3月19日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成26年度事業について評価・講評を受けた。

## [12] 徳川記念財団への協力

本研究所では受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料 約5,130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された徳川記念財団が調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。

平成26年度は徳川記念財団が実施した展示事業と閲覧6件について協力した。

史料名（徳川記念財団所蔵）	期間	目的
「御恭順一件附諸御届」等 4件 4点	26. 5. 26	閲覧対応
「姫君婚礼行列記」等 9件 9点	7. 25	〃
「雑記」等3件 4点	8. 27	〃
「孝明天皇宸筆」等 8件 8点	8. 27	〃
「孝明天皇宸筆」等 7件 24点	12. 19～継続中	展示事業
「日光御参詣行列書」等 3件 4点	27. 2. 6～継続中	〃

## [13] 設備管理

建物・設備の営繕工事等を以下のように行った。

- ① 徳川黎明会本部建物1階会議室等照明器具取替
- ② 〃 高圧コンデンサ交換
- ③ 〃 電話設備交換
- ④ 〃 地中配線用高圧ガス負荷開閉器(UGS)取付
- ⑤ 〃 第1・第2収蔵庫系統空調機熱交換器取替
- ⑥ 〃 建物外部漏水補修工事

## [14] 資産の取得

下記の資産を取得した。

### 1. 建物附属設備

- ① 徳川黎明会本部高圧コンデンサ
- ②     "     地中配線用高圧ガス負荷開閉器(UGS)

### 2. 図書

購入及寄贈図書のうち365冊を図書資産として取得した。

## [15] 活動支援基金

昨年度に引き続き徳川林政史研究所の事業を対象にした募金活動を行った。平成26年度の実績は以下の通りである。

### 1. 寄附金受付業務

寄附金額 26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

940,000 円     法人 0 件（0口）     個人 22 件（94口）

### 2. 寄附金の使途

平成26年度の寄附金支出なし。

### Ⅲ. 収益事業

#### [収 1]

##### 不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 外国人向け住宅6棟中5棟の賃貸を行った。
2. 平成26年度は賃貸住宅工事等により以下の固定資産を取得した。
  - (1) 建物（改修工事） 1件
  - (2) 構築物 1件
  - (3) 什器備品 2件

#### [収 2]

##### ミュージアムショップの運営事業等(徳川美術館)

- (1) 各展覧会に則した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを工夫・改善した。
- (2) 新商品の開発を行った。（大名行列リングノート、鯉尾藤四郎関連、御前ういろう、A3家紋ファイルなど）
- (3) 巡回展など、外販を積極的に展開した(広島県立歴史博物館)
- (4) 商品売上分析による戦略的販売計画を策定した。
- (5) 雛まつり期間中東ロビーで特設ショップをオープン

## 事業報告の附属明細書

平成26年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 徳川黎明会